

## 授業イメージをつくりましょう

	小学校
教科・領域等	理科「もののとけ方」
授業タイトル・単元名等	とけたものを取り出すには(2時間)
対象学年	5年
実施場所	理科室
ICT活用授業の内容	<p>●授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飽和状態を超えたみょうばん水をろ過し、蒸発させたり温めたりしてとけたものを再び取り出す。</li> </ul> <p>●授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「水にとけたものを取り出す」というねらいを確認する。</li> <li>2 実験方法のアイデアを考える。(「自然に蒸発」、「氷で冷やす」)</li> <li>3 <b>NHK放送番組「ふしぎワールド」</b>を見て、ろ過の仕方ととけたものの取り出し方法を知る。</li> <li>4 各班毎に考えた方法で実験をし、水にとけたものを取り出す。</li> <li>5 実験結果を報告する。</li> <li>6 わかったことをまとめる。</li> </ol> <p>●ICT活用のねらいと授業での位置づけ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「ろ過の仕方」を指導する際、放送番組を視聴すると重要な部分を拡大したりスローにしたりするので分かりやすい。</li> <li>2 結晶のができる様子も、実際には何時間もかかってしまうが、放送番組を使えば早送り編集されているので時間の節約にもなり、子どもにとっても分かりやすい。</li> </ol>
活用するICT	テレビモニター NHK放送番組「ふしぎワールド」を録画したDVDメディア DVDデッキ